

令和7年度 学校経営計画書

学校番号	15	学 校 名	東部特別支援学校 伊豆高原分校	校 長 名	佐々木 雅則
------	----	-------	--------------------	-------	--------

1 目指す学校像

教育目標 「学びあい、わかりあい、高めあう人」

【体】健康で生き生きと活動する力

【知】社会生活に必要な力を身に付け、自分らしく生きる力

【徳】他の人を思いやり、物事に感動したりする豊かな心

教育目標の具現化に向けて、①安心と信頼、②豊かな学び、③地域とのつながり
④やりがいと学校づくりの4つの視点に掲げ、社会で生き生きと働き、互いを認め
合い、豊かな感性をもって、生活の質を高められる学校づくりを目指す。

2 目標具現化の柱

(1)〈守 る〉安全で安心な教育環境づくり

ア 学校の安全体制の強化

イ 人権を尊重した教育

(2)〈育 む〉確かな学力や豊かに生きる力の育成

ア 学びの充実

イ キャリア教育の充実

ウ 特別支援教育の専門性の向上

(3)〈つなぐ〉学びと生活を支えるための連携づくり

ア 校内における連携体制の構築と情報共有

イ センター的取組の充実

ウ 「共生・共育」の充実

(4)〈高める〉わかりあい高めあう働きやすい環境づくり

ア 働きがいのある学校づくり

（生徒にかかわる時間の確保、授業準備時間の確保、会議の精選）

イ 信頼される学校づくり

3 本年度の取組（重点目標）

(1)〈守る〉安全で安心な教育環境づくり

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
ア	学校の安全体制の強化			
	安全・安心で健康に過ごすための知識・技能の獲得	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒理解、支援方法の職員研修 ・緊急時に適切に対応するための職員研修の実施 ・想定される災害等への対応方法について研修の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・研修を生徒の指導、支援に役立てたと感じる教職員90%以上 ・マニュアルで災害時の自分の動きが把握できた。 ・災害時、どのように行動すればよいか理解できた生徒80%以上 	自立活動課 保健安全課

イ	人権を尊重した教育			
	互いを認め合い人権を尊重した教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に自分を振り返る機会の設定 ・外部講師を含む校内人権研修の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・友達を思いやる行動ができた生徒90%以上 ・生徒の人権を意識して指導、支援ができた教員100% 	学年主任 生徒指導課

(2) <育む>確かな学力や豊かに生きる力の育成

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
ア	学びの充実			
	生徒が主体的に学べる授業づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の学習意欲を喚起させる支援の工夫 ・ICT活用実践例の紹介 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業が分かったと答えた生徒90%以上 ・ICTを効果的に活用できたと感じる教員80%以上 	研修課 情報課
イ	キャリア教育の充実			
	自分らしく生きるための自立と社会参加を目指した進路指導	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の希望、実態を踏まえた適切な実習先、進路先の選定 ・実習、進路先の希望が出されたのち学年ごとケース会議を開く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭と連携しながら実習を実施し、進路決定に向けた関係機関との連携ができたと考える教員80%以上 	進路指導課
ウ	特別支援教育の専門性の向上			
	自分の課題、目標に沿った研修の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・センター研修、Plant、外部講師による研修の実施 ・ニーズに沿ったミニ研修の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・研修を教育活動に生かした教員90%以上 ・自分の課題のテーマを研修できた教員90%以上 	研修課 自立活動課 管理職

(3) <つなぐ>学びと生活を支えるための連携づくり

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
ア	校内における連携体制の構築と情報共有			
	途切れのない支援体制の構築	<ul style="list-style-type: none"> ・入学を希望する生徒の支援内容の共有 ・課題に応じ、情報の共有、校内ケース会議、外部機関を入れてのケース会議の実施 ・卒業後の生活を踏まえた関係機関との情報共有 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後の対応方法について学年部会、ケース会議等を踏まえ、学部、学年で情報共有することができたと感じる教員80% 	進路指導課(Co) 学年主任 進路指導課
イ	センター的取組の充実			
	情報共有と情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ・要望に応じた対応、ノウハウの提供 ・必要に応じ、関係機関 	<ul style="list-style-type: none"> ・支援内容、要請事項を校内で共有、発信できた。 	進路指導課(Co)

		を紹介		
ウ	「共生・共育」の充実			
	併設校、地域との共生共育の推進	・これまでの実践を踏まえた持続可能な共生共育の企画、実施	・今後の共生共育に期待がもてると答えた教員90%以上	生徒指導課

(4)＜高める＞わかりあい高めあう働きやすい環境づくり

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
ア	働きがいのある学校づくり			
	充実した業務ができる職場環境の構築	<ul style="list-style-type: none"> ・必要な時に必要なケース会議、教材研究の時間の確実な確保 ・cocooやホームページの活用推進 ・ホームページの更新方法の紹介とサポート 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒に向き合う時間が十分確保できた職員90%以上 ・ICTを公務（ホームページやcocoo）に活用できた教職員70%以上 ・ホームページの更新を行った教職員100% 	教務課 情報課
イ	信頼される学校づくり			
	不祥事根絶	<ul style="list-style-type: none"> ・職員会議、終礼等を使った定期的な研修 	<ul style="list-style-type: none"> ・不祥事を身近なことと意識して不祥事ゼロを目指した教職員100% 	管理職